

シエムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE
89

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



小出陽子 (Yoko KOIDE)

● 1992年早稲田大学大学院卒。一級建築士。2000年、UNESCO/JSA 遺跡修復オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シエムリアップにレストラン Cafe Moi Moi をオープンする。同年 JST (NGO: アンコール人材養成支援機構) を設立し、農村地域の支援活動を始め。2013年“アンコールの都の西北”に公立のバイヨン中学校を創設し、運営を行っている。
● JST ホームページ <http://www.jst-cambodia.net>

MoiMoi Life in Siem Reap Rumdul Cambodia is born?

Last year Bayon Junior High School held their first Sports Festival. This year they started a girls soccer team that played their first provincial tournament in February and they won!

This soccer club practices during the hottest time of the day from 2 pm to 4 pm. I was also surprised to find that the girls and boys are mixed together during practice and that most of the girls are barefoot!

This April, the first professional soccer team in Siem Reap, Soltilo Angkor FC was created and in turn brought a specialist Japanese coach to Bayon. Attending the first coaching session, I saw female students turn into serious soccer players.

I thought someday they may follow in Nadeshiko Japan's footsteps and become "Rumdul (the national flower) Cambodia".

ロムドゥールカンボジア誕生か？

昨年、バイヨン中学校で行われた初めての運動会で、「目標に向かって皆で協力し、挑戦する」喜びや楽しさに目覚めた生徒たちですが、今年は女子サッカー部も結成され、2月に行われた州大会では、初出場でなんと優勝を勝ち取りました！

ところで、そのサッカー部の練習時間は、1日のうち最も暑い時間帯の午後2時〜4時。元気だなあ、と見ていると、驚いたことに練習は男女混合、しかも女子の大半は裸足でした。スパイクを購入できるほどの経済的余裕ほどの生徒の家庭にもないでしょうし、靴を履くくらいなら裸足の方が動きやすいのですが、裸足で校庭を駆け回り、裸足でボールを蹴り、スパイクを履いている男子生徒をもとめせず、対等に練習を続けている姿は衝撃的でもありません。

そして、今年4月、シエムリアップ初のプロサッカーチーム「ソルティエール・アンコールFC」が誕生したのをきっかけに、専属の日本人コーチが、バイヨン中学校で

不定期にサッカー指導をしてくださることにになりました。初回は基本的な練習を行っただけなのですが、それまで眠っていた野生の本能が目覚めた、とでもいうのでしょうか、ボールを追いかける女子生徒たちからは、内に秘められた戦いのオーラが静かに湧き出ているのが印象的でした。しかも、さっきまで笑顔がカワイイ普通の中学生だったのに……。その得体の知れないギャップに驚くばかり。

この戸惑いを日本人コーチに伝えたところ、日本女子サッカー代表の“なでしこジャパン”メンバーからも同様の印象を受けるとのこと。さらに、「いや、カンボジアの子たちの方が凄いかもしれない」と。うん、これは今後、飛躍的に伸びる可能性があるってこと？ ということは、“なでしこジャパン”ならぬ“ロムドゥール”（カンボジアの国花）カンボジア“が活躍する日も夢ではないかも？”と、勝手な妄想を膨らませているところでです。